私の居場所が出来るまで
ケアプランの工夫と
情報共有により安心へ

野村　絢加
Text by Ayaka Nomura

et.

Edel Tutiyama.

Copyright ©Edel tutiyama All Rights Reserved.

突然帰宅要求
がやってきた

Aさん　95歳　男性　介護度4

日常生活自立度:B1

認知生活自立度:ⅢA

現状疾患

ロコモティブ症候群

認知症

家族構成

妻・子供2人

入所1日目～7日目の様子

（ユニットで過ごす）

・入所後は緊張した様子で、表情も固い。
・職員・他住民に自己紹介をする。
・本人の体調に合わせて、希望があれば臥床時間設ける。
・ユニットでは職員と談話・テレビ鑑賞をする。

入所8日目
息子が迎えに来るか
ら玄関に連れってって

入所９日目

・PMより強い帰宅要求あり。

８日目と同様の事と、また財布がないと心配し、財布の場所を心配しソワソワする。

→（対応）事務所で保管している事を伝え、安心し納得する。

入所10日目

・PMより強い帰宅要求あり。

８日目と同様の事あり

→（対応）相談員より、家族（息子）と連絡を取り、面会依頼・息子さんと談話をして落ち着く。

入所1週間でのカンファレンス決定事項

介助内容	初回情報	入所後情報
移乗移動	全介助	一部介助
排泄	パット交換	トイレ誘導
食事	全介助	自力摂取

入所１１日目

・PMより強い帰宅要求あり。

→再度家族に面会依頼し、来所してもらう。

・夕食時に落ち着きなく、夕食摂取に拒否あり。

→（対応）相談員・家族と話し合い、毎日１５時頃に来所してもらう事に決定する。

・この際も表情は硬い。

入所12日目

・PMより強い帰宅要求あるも、興奮する前に家族の面会あり。

→興奮に至るまでに落ち着く。

入所14日目

・PMより強い帰宅要求あり。

→（対応）息子さんより手紙を書いてもらう。

※手紙の内容：「親父（Aさん）は何の心配をせんでもいい。他の心配はいらん。ここ（エーデル土山）におったらいい。」と書かれている。

入所１６日目

・PMより強い帰宅要求あり。

→８日目と同様の事あり→（対応）相談員より、家族（息子）と連絡を取り、面会依頼・息子さんと談話をして落ち着く。

入所17日目

・PMより強い帰宅要求あり。また夜間帯にも、軽度の帰宅要求あり。

→職員が傾聴し、徐々に表情が和らぐ。泊まる事に納得し、落ち着く。

入所18日目

・PMより強い帰宅要求あり。
→傾聴するも落ち着きなく、職員と同行動する。
→その後に家族の面会あり、落ち着く。

入所１９日目

・帰宅要求なく手紙を見て落ち着いている

終日穏やかに過ごす。ユニットでテレビ鑑賞し、他住民と談話したり、職員が気にかけて、Aさんに声をかける。（好きな事や好きな食べ物等の話題で笑顔あり）

入所20日目

・帰宅要求なし。
１９日目と同様の事あり

入所21日目

・PMより強い帰宅要求あり。

→家族の面会あり、表情に笑顔見られ落ち着く。
→（対応）家族よりAさんに説明する。

ご家族の手紙

入所時に、デイサービスに行くと言って、
そのまま帰れなくなった父に罪悪感が
残り申し訳なく眠れないこともありました。

入所22日目

・PMより強い帰宅要求あるも、興奮する前に家族の面会あり。

→興奮に至るまでに落ち着く。

入所23日目

・PMより強い帰宅要求あるも、興奮する前に家族の面会あり。

22日と同様の事あり

→興奮に至るまでに落ち着く。

入所24日目

・PMより強い帰宅要求あるも、興奮する前に家族の面会あり。

22日と同様の事あり

→興奮に至るまでに落ち着く。

入所25日目

・帰宅要求なし。

新しく試みたユニットで同じ地区のBさんと談話をする。

→顔見知りの方がいたからか、急に笑顔になり自らBさんに向かって話しかける。「〇〇〇さん！」と呼び、昔の事や、様々な話題を問いかけ、会話をする。

入所26日目

・帰宅要求なし。

25日同様でBさんと談話する。落ち着いた表情で笑顔もあり。

入所27日目

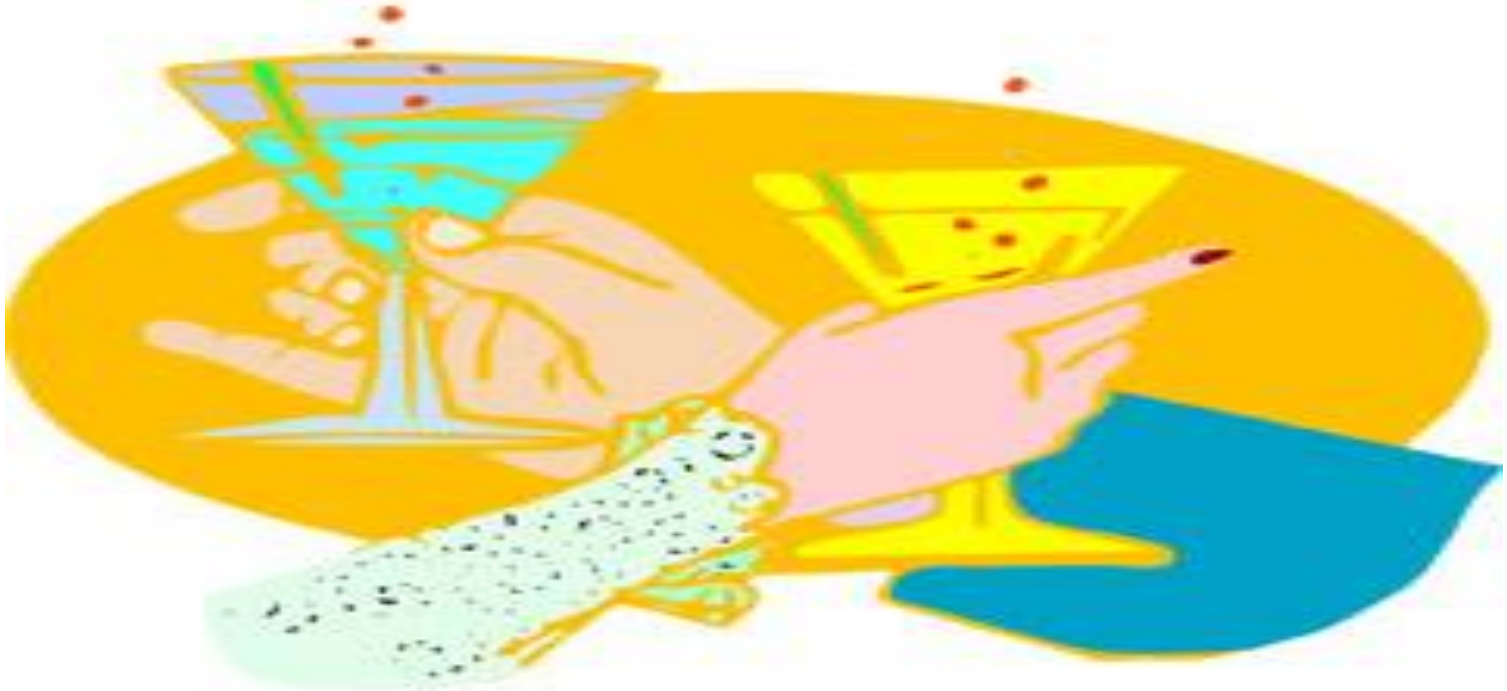
・帰宅要求なし。

自ら「Bさんに会いたい！」と話す。Bさんが過ごすユニット行き、談話する。Bさんも日常生活で入眠傾向あるが、互いに笑顔である。

家族とカンファレンスをしてユニットの変更を決める。

入所30日目

ご家族からの声



入所31日目～60日目

・毎週1回の面会で帰宅要求なく落ち着いて過ごす。また自分の居場所を見つけたことで、食後は、車椅子を自走し自分の指定席に移動してTVを見て過ごしている。

なばなの里

【取り組みの成果と評価】

①初回プランで、環境の変化で色々な症状がでたり、場合によっては、ご家族に面会に来て頂くこともあると十二分に説明できていたから、ご家族からの協力を仰げた。またご家族との連絡は、相談員が必ず行う対応になっている。窓口を相談員に一本化することで、随時ケアプランに入れて説明が出来る。（相談員は365日出勤体制になっている・情報の混乱からクレームを避けるメリットもある）

②ケアプランで表記することにより、毎日の実施評価で帰宅要求の時間や内容を、早期把握でき、毎朝のカンファレンスができたことにより、本人の居場所を発見できた。（日中の落ち着いている時の周りの利用者状況などを、日誌に記載し把握する）

③ご家族からは「親父と一緒にビールを飲めるとは思わなかった」と喜びの声が聞けた。

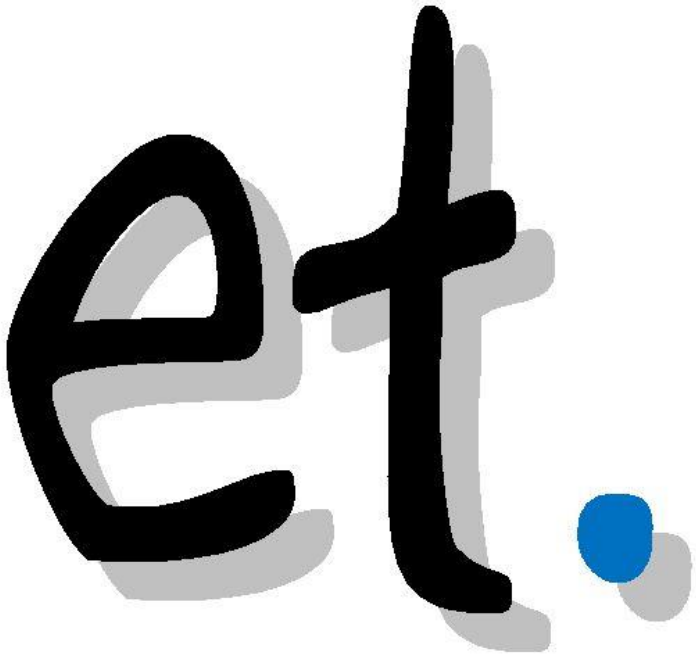
④ケアワーカーは、ケアプランに沿って仕事をしているため、今回は一ヶ月で5回ものプラン変更があった。また都度ご家族に提示し説明することにより、情報を共有できた。

【今後の課題】

・利用者の認知症の症状は、育ってきた環境なども影響するため、職員の過去の経験を当て込むのではなく、その人に向き合っていくことが大切である。またケアワーカーだけで対応するのではなく、チーム（看護師・相談員・ご家族）で対応していくことが大切であると感じた。

・ご家族からは帰宅要求が見られることが心配なため、まだ妻と会わせないでほしいと言われていますが、Aさんは妻と会いたいと思われているので、現場のケアワーカーは奥さんと会っても帰宅要求が見られない状況をつくる事が目標です。

御清聴ありがとう御座いました



Edel Tutiyama.

Copyright ©Edel tutiyama All Rights Reserved.

野村　絢加

Text by Ayaka Nomura

・申し送り/ミーティング心構え七か条

・

・

・一、申し送り開始「５分前」にはCr、室に集合！時間厳守！

・

・二、申し送りの際は姿勢を正しダラダラしない！集中する！

・

・三、大きな声ではっきりと伝える。意識して大きな声を出す！

・

・四、おかしいと思ったことは必ず質問すること！

・

・五、申し送りは笑ったり談笑する場ではない！情報を伝達するという重要な仕事であることを認識せよ！

・

・六、どうすれば相手に上手く情報が伝わるか、考えながら申し送る。

・具体的にはっきりと伝えること！

時間	項目	ポイント
	①集合	・５分前は全員がしっかりと集合！時間厳守！
	②挨拶	日勤リーダー　**※タイマー30分でセット** 「おはようございます。〇月〇日の申し送り/ミーティングをはじめます」 ※大きな声で！
３分	③挨拶/体操/ 声だし トレーニング	・接遇向上委員会、安全衛生委員会にて決定した事項を実施。
１０分 以内	④申し送り	・　SS利用者の人数（既存のみ） ・　下剤服用者 ・　夜勤帯の申し送り（重度、注意者から順次報告）
１５分 以内	⑤ミーティング	①　早期に解決が必要な案件を協議（身体面・心理面等を重視） ①　リスクマネージメントに関する協議 ・インシデント、アクシデントが出た直近のミーティングで直ぐに検討すること ※アクシデント評価期間を確認し再評価行う。 ①　ケアプランに関することを協議。 ・実施率の低いサービス内容啓発や本日、中心に行なうケア内容を言う。 ①　ケア内容や業務に対して気づいたこと、改善案を協議。 ・日勤リーダーは必ず１回のミーティングに対し１つのテーマを準備しておくこと。 ・具体的で前向きな内容を協議すること。

１５分以内	⑤ミーティング	① 早期に解決が必要な案件を協議 （身体面・心理面等を重視） ① リスクマネージメントに関する協議 ・インシデント、アクシデントが出た直近のミーティングで直ぐに検討すること ※アクシデント評価期間を確認し再評価行う。 ① ケアプランに関することを協議。 ・実施率の低いサービス内容啓発や本日、中心に行なうケア内容を言う。 ① ケア内容や業務に対して気づいたこと、改善案を協議。 ・日勤リーダーは必ず１回のミーティングに対し１つのテーマを準備 しておくこと。 ・具体的で前向きな内容を協議すること。